



2023年9月期 通期決算説明資料

株式会社インバウンドプラットフォーム（東証グロース：5587） | 2023年11月14日

目次

- ① 事業概要
- ② FY2023.09 通期業績ハイライト
- ③ FY2023.09 決算概要
- ④ FY2024.09 業績予想
- ⑤ 成長に向けた取り組み
 - Topic ライフメディアテック事業の新規サービスに関する取り組み

① 事業概要

A photograph of three women walking and smiling on a Japanese street. The woman on the left is wearing a purple kimono. The woman in the middle is wearing a blue and white checkered dress. The woman on the right is wearing a white top and a patterned bag. The background shows a street with shops and signs.

また来たい、日本

Make people from all over the world *Love This Country.*

外国人の日本における課題・不便を解決し、
中長期的に成長する訪日及び在留外国人市場を牽引する業界のリーダーを目指します。

事業セグメント

訪日外国人 / 在留外国人 / 日本人 / 法人 を顧客対象として
3つの事業複数のサービスを展開しています

Wi-Fi事業

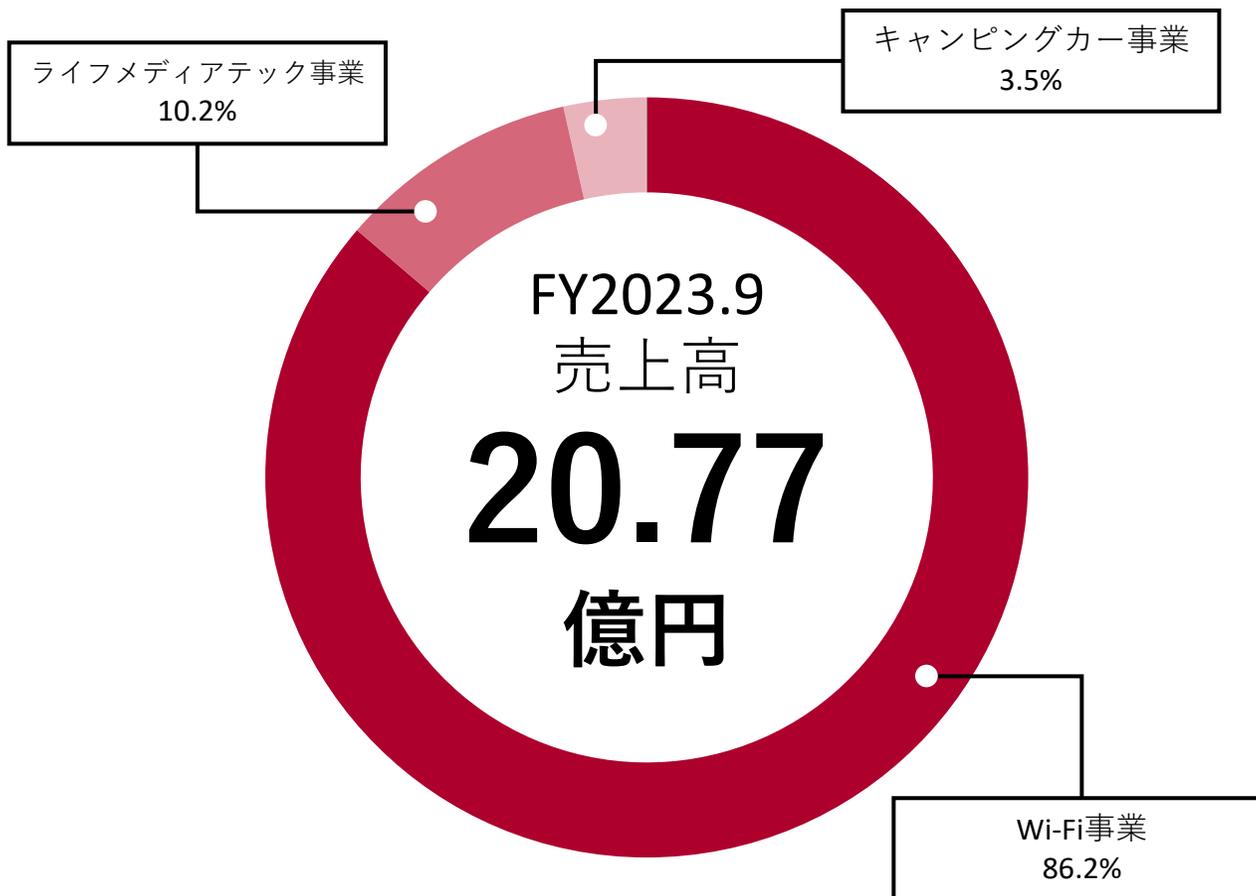
快適なインターネット環境の実現を目指し、
顧客の利用用途に合わせたWi-Fiレンタルを提供する通信事業

ライフメディアテック事業

「通信」「住まい」「医療・ヘルスケア」「移動」を
はじめとする訪日・在留外国人向けの統合ライフサービス事業

キャンピングカー事業

米国キャンピングカーレンタル大手であるEl Monte RVの
正規代理店としてレンタルを行なうキャンピングカー事業



ライフメディアアテック事業

在留外国人の生活をサポートする統合ライフサポートサービスを提供

日本で生活する上で必要なサービスは、問合せ先や各種手続きが煩雑であり、日本語が難しい外国人にとって時間と手間がかかります。在留外国人の方が必要とするサービスを垂直的に立ち上げ、自社保有の多言語コールセンターを活用しながら日本での生活をサポートしています。



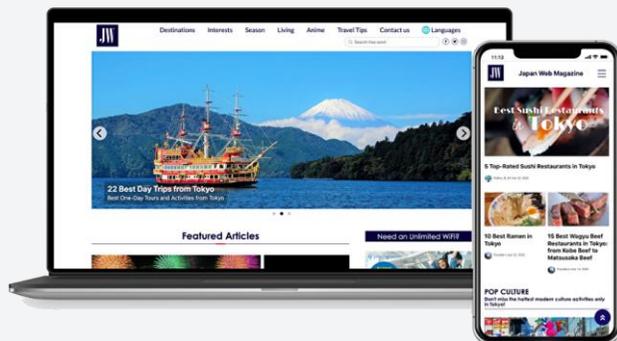
空港送迎サービスの取次「Airport Taxi」



不動産情報提供・賃貸仲介「Living Japan」



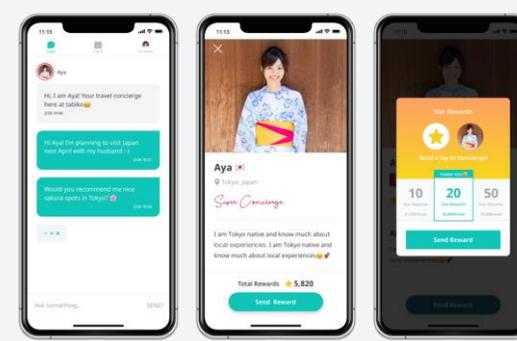
医療機関の取次「Clinic Nearme」



情報発信 Webメディア「Japan Web Magazine」



通信環境の取次「Japan Wireless Mobile」



チャットコンシェルジュアプリ「Tabiko」

キャンピングカー事業

米国キャンピングカーレンタル大手の代理店として、レンタルキャンピングカーサービスを提供

国内レンタルでは、18台のキャンピングカーを保有し、訪日旅行客及び日本人顧客向けにレンタルサービスを提供しています。
海外レンタルでは、米国キャンピングカーレンタル大手EL MONTE RENTS, INCへの日本人顧客の取次ぎを代理店として行っています。

国内レンタル（全国6拠点）



海外レンタル（世界4ヶ国）



我々の強み

長年、訪日旅行事業を営み、外国人向けのサービス提供に特化してきたことで、外国人との多くのタッチポイントと、外国人に対するカスタマーサポートノウハウを有しています

外国人向けサービス提供ノウハウ

- 外国人向けWeb情報メディアの運営／外国人向けチャットコンシェルジュサービス／外国人向けWi-Fiレンタルサービス／外国人向けハイヤーサービス／外国人向け医療機関案内サービスなど **様々な外国人向けのWebサービスを展開**



外国人との豊富なタッチポイント

- 外国人向けWeb情報メディアを自社保有：**月間150-200万PV**
 Wi-Fiユーザー：**月間 10,000～18,000組**
 送迎ハイヤーユーザー：**月間 900～1,300組**



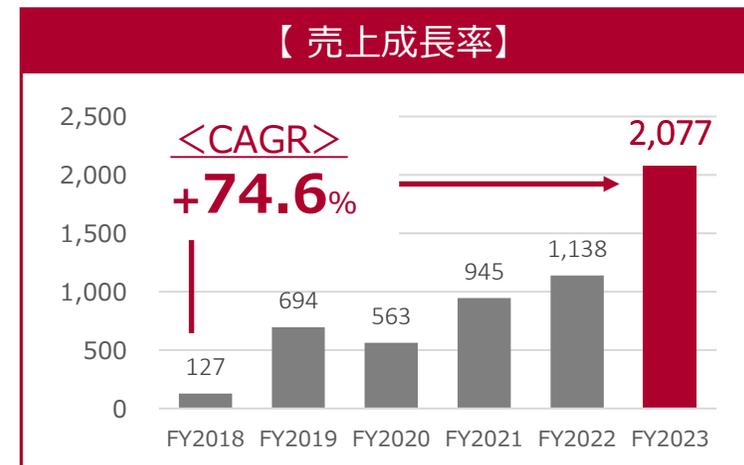
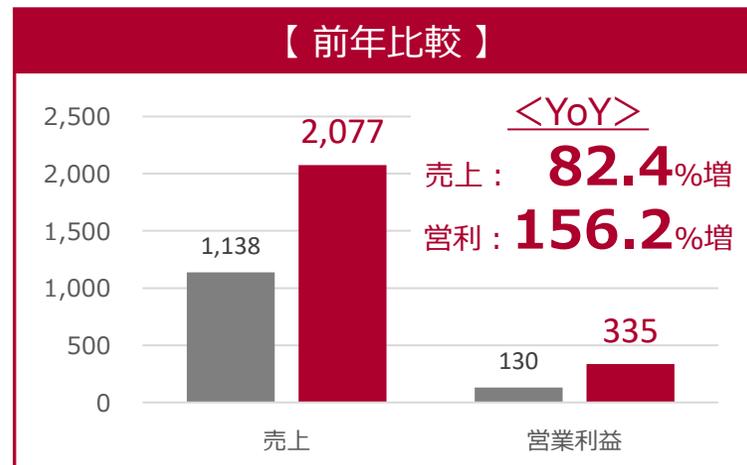
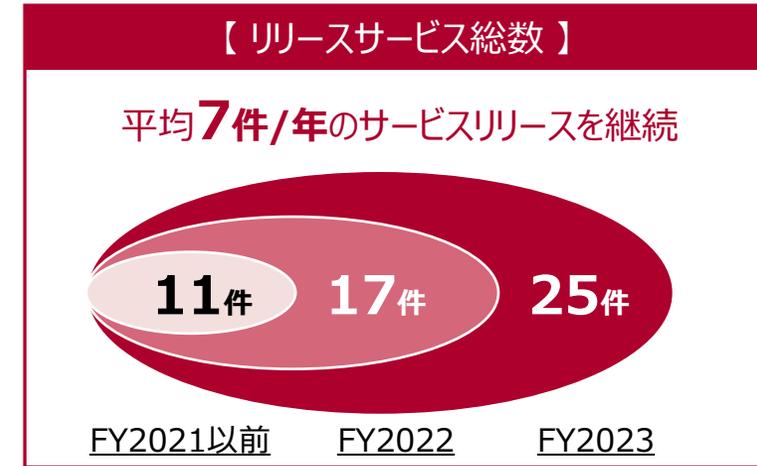
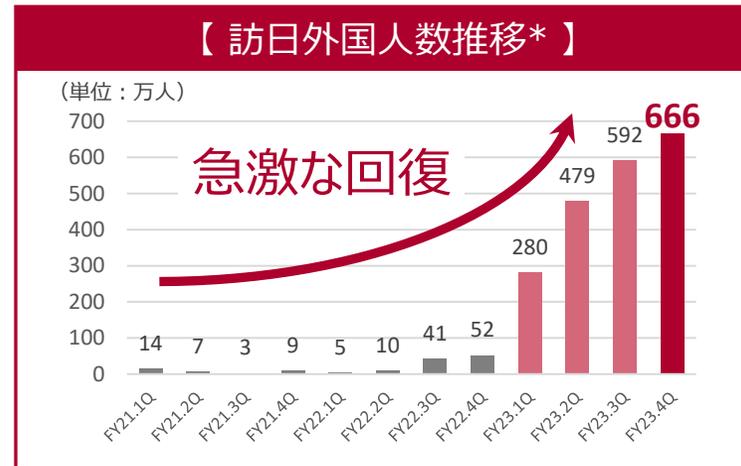
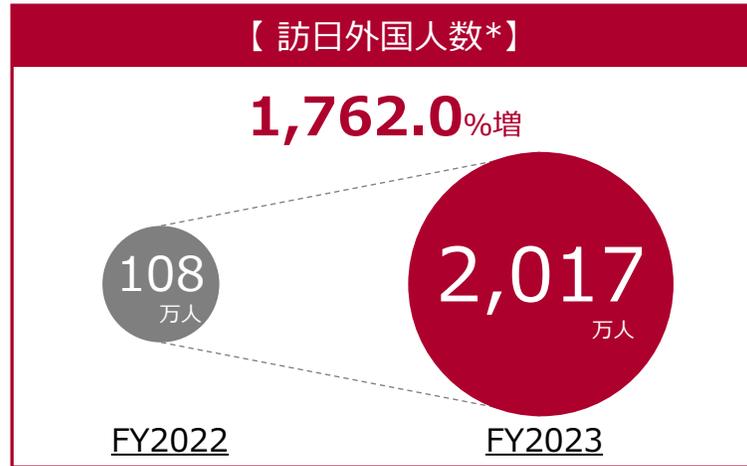
外国人へのカスタマーサポートノウハウ

- 7言語以上対応可能なコールセンターを自社保有**
- 行政機関の外国人カスタマーサポート**の受注実績
- 自社の訪日外国人向けコンシェルジュアプリでは、**4.6 / 5の高評価のレビュー**をいただいております



② FY2023.09 通期業績ハイライト

インバウンド環境の好転が高成長の要因



※出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社会計期間に合わせて作成

③ FY2023.09 決算概要

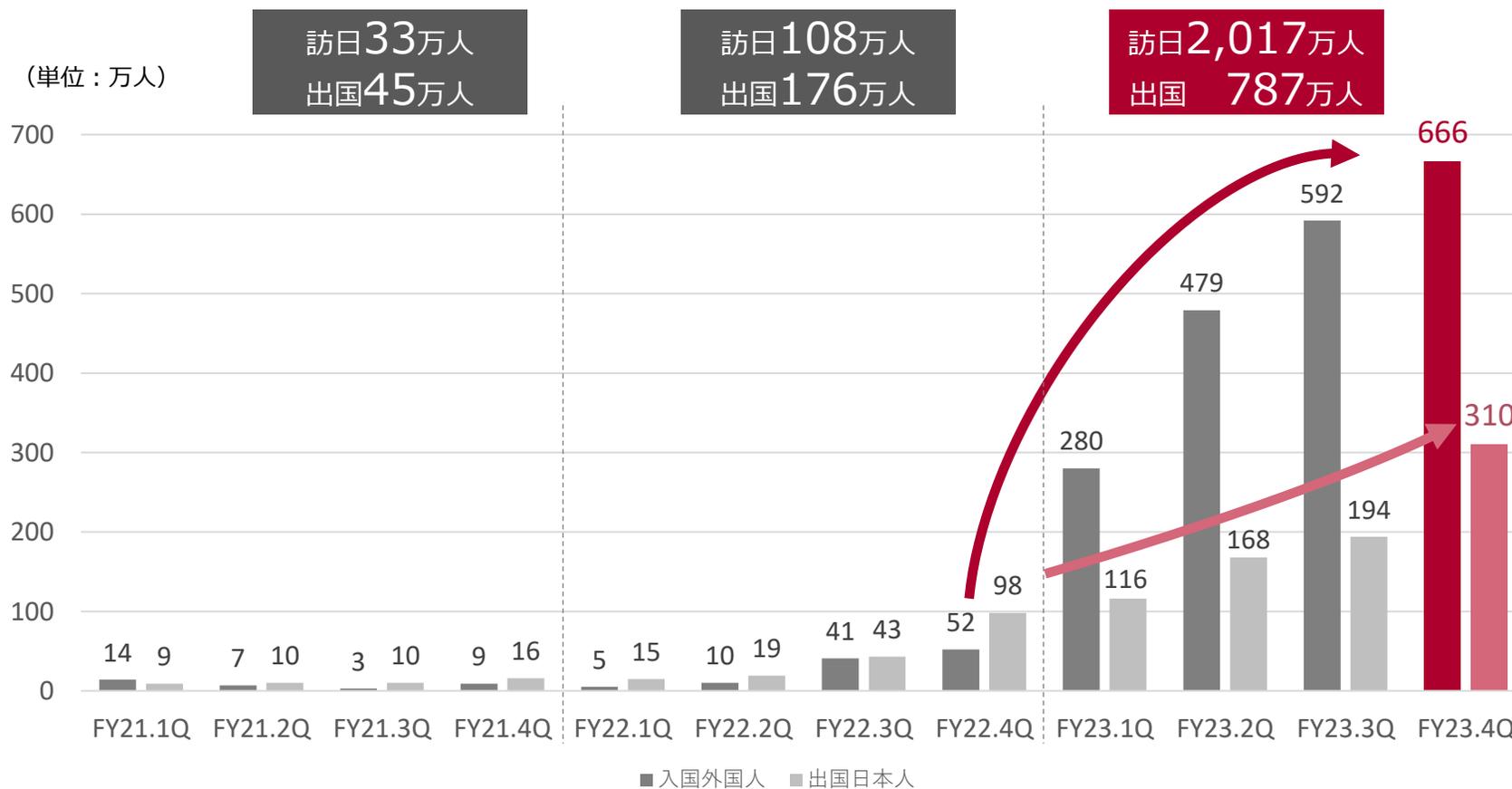
- 訪日・出国人数の回復、および既存事業の販路拡大等により、通期売上高は前年比82.4%増加、同営業利益は156.2%増と大幅に増収・増益を達成
- FY23.4Qの四半期売上高は、世界各国における休暇時期等の季節性の回復影響もあり、業績予想比101.6%、通期業績予想比100.5%と概ね計画通りに着地
- 同四半期営業利益は、効果的な広告宣伝活動が影響し、業績予想比148.9%と計画を上回る着地

(単位：百万円)

	FY23.4Q	4Q業績予想		FY2023		FY2022		通期業績予想	
	実績	予想値	達成率	実績	売上高比	実績	YoY増減率	予想値	達成率
売上高	557	548	101.6%	2,077	-	1,138	82.4%	2,067	100.5%
売上総利益	328	311	105.5%	1,236	59.5%	727	69.9%	1,198	103.2%
営業利益	70	47	148.9%	335	16.3%	130	156.2%	308	108.8%
経常利益	51	33	154.5%	376	18.3%	130	188.5%	292	128.8%
当期純利益	29	23	126.1%	252	12.4%	96	160.0%	202	124.8%

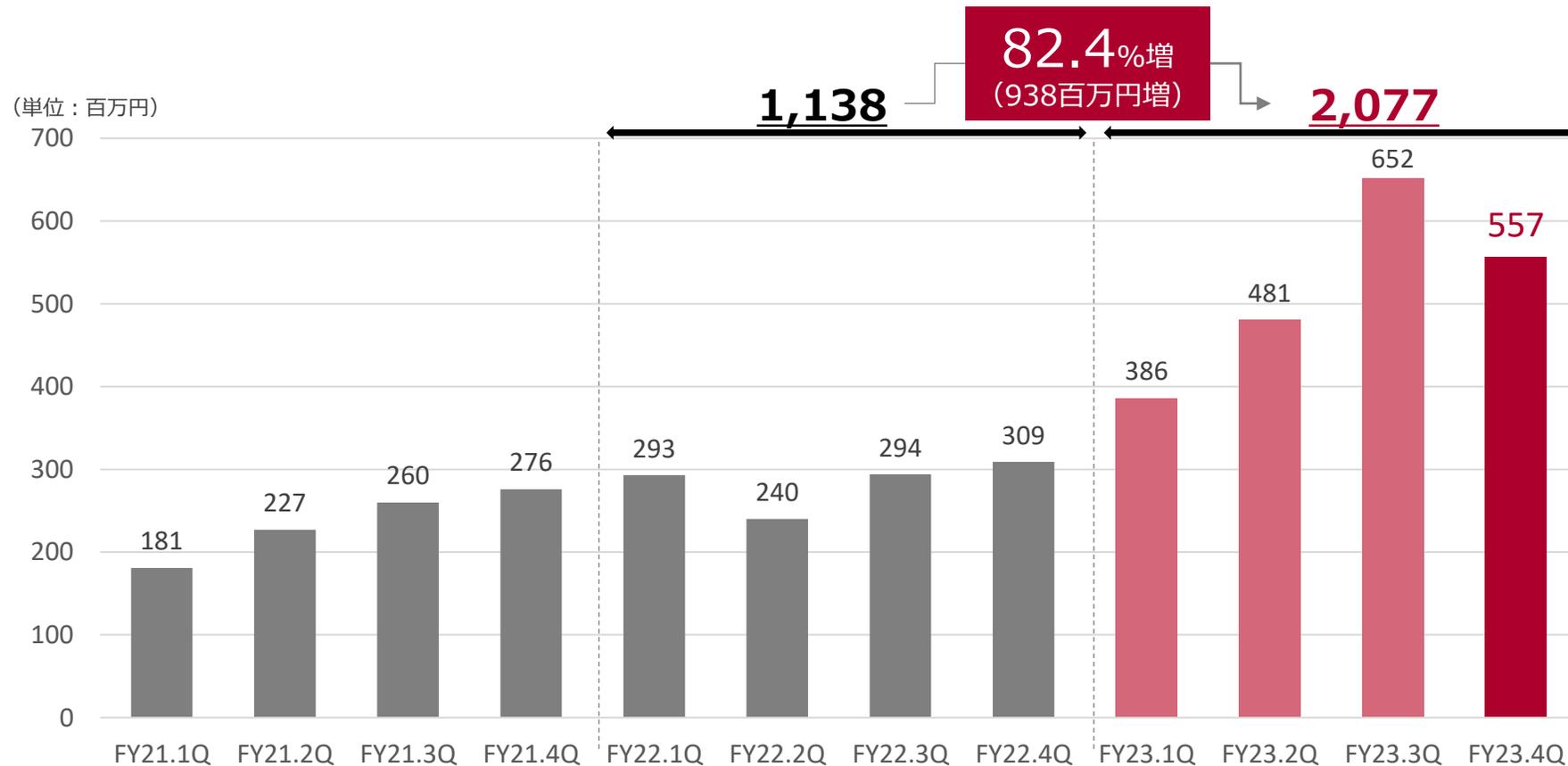
【全社主要KPI】 訪日外国人・出国日本人の推移（当社会計期間単位）

- 訪日外国人数の推移は、3月以降急激な回復となり、9月は単月218万人まで回復（2019年9月比：▲3.9%）
- 一方、出国日本人数は、堅調に回復しているもののコロナ前と比較すると57.4%に留まる



出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社作成

- 通期では、1Qより堅調な訪日外国人数の回復により、前年比938百万円増加 (+82.4%) の2,077百万円
- 2023.4Qは訪日外国人総数は増加傾向にあるが、当社のボリュームゾーンとなる欧米からの訪日外国人数の低下等により売上高は微減となるものの、コロナ発生前の定常サイクルへ回復傾向



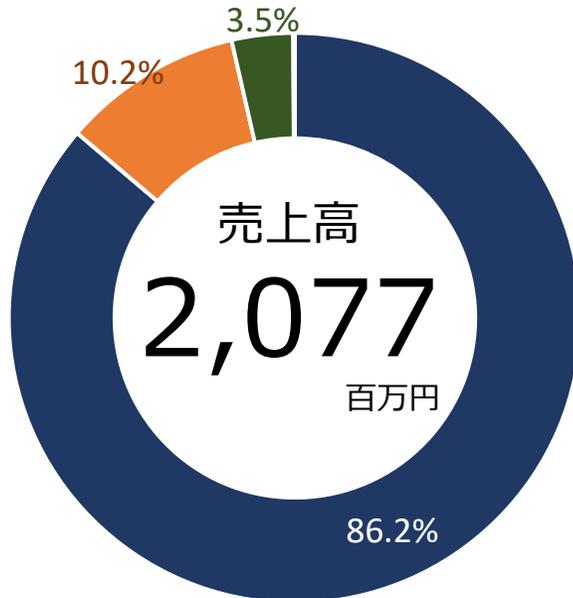
Wi-Fi事業

ライフメディアテック事業

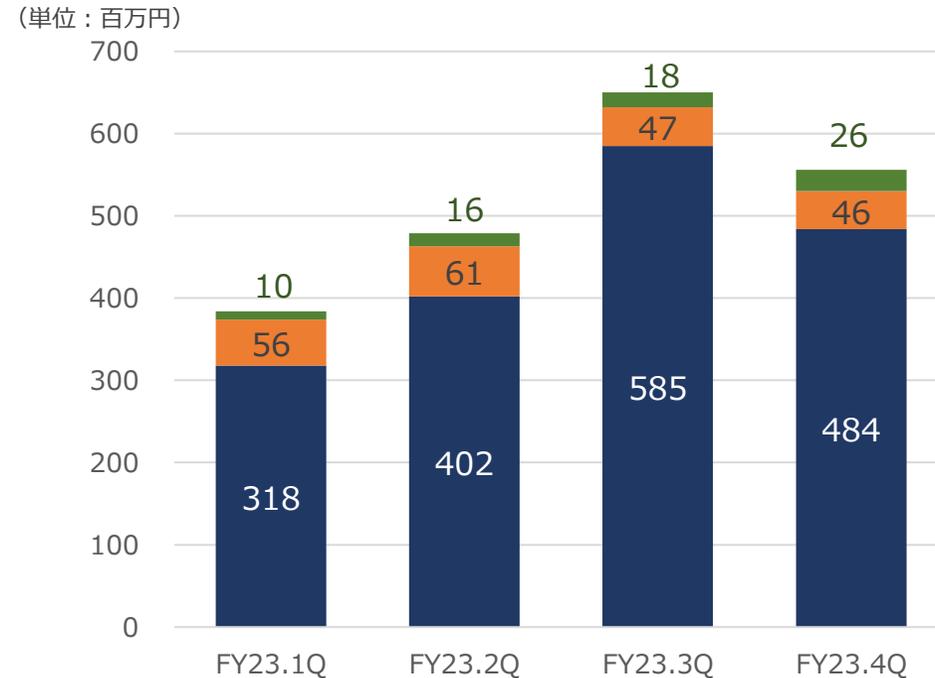
キャンピングカー事業

- セグメント別売上高は、インバウンドの回復影響に伴いWi-Fi事業の売上構成比が全体の86.2%（前期：62.2%）に伸長、キャンピングカー事業は堅調に上昇推移
- ライフメディアテック事業は、AIRPORT TAXIやLiving Japanは堅調に推移するものの、ClinicNearme(PCR検査取次ぎ)の低下により3Q以降は徐々に低下傾向

【売上構成割合】

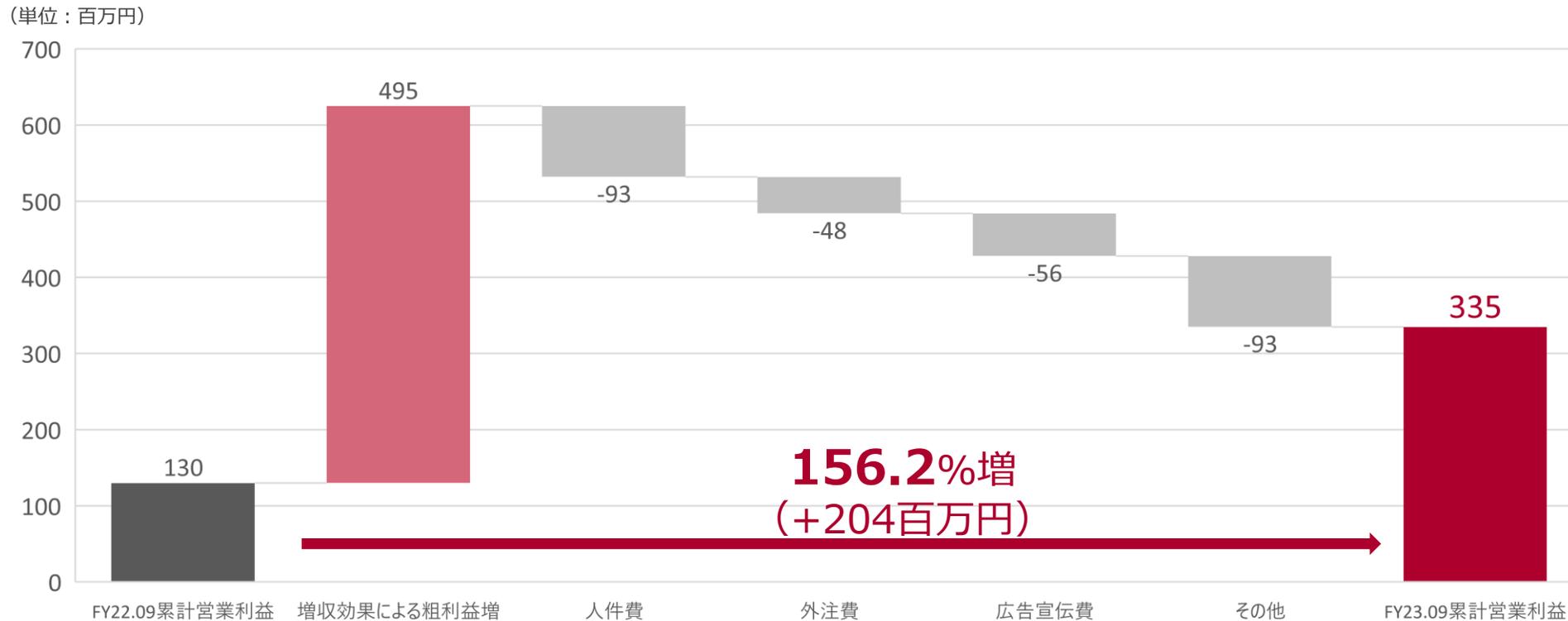


【四半期推移】



■ Wi-Fi ■ ライフメディアテック ■ キャンピングカー ■ その他

- 通期営業利益の増減要因は、主には粗利益の増収効果によるものが大きく、販売管理費では急激な市況回復によるメンバー増員・外注委託による人件費増加が主なコスト増要因
- 広告宣伝費は56百万円増となったものの効果的な増収要素となり、営業利益は前年比204百万円増（156.2%）の335百万円に増加



【営業外損益】**■ 上場関連費用**

- 東京証券取引所への上場に要した費用13百万円を、4Qに上場関連費用として計上しております。

■ 補助金収入

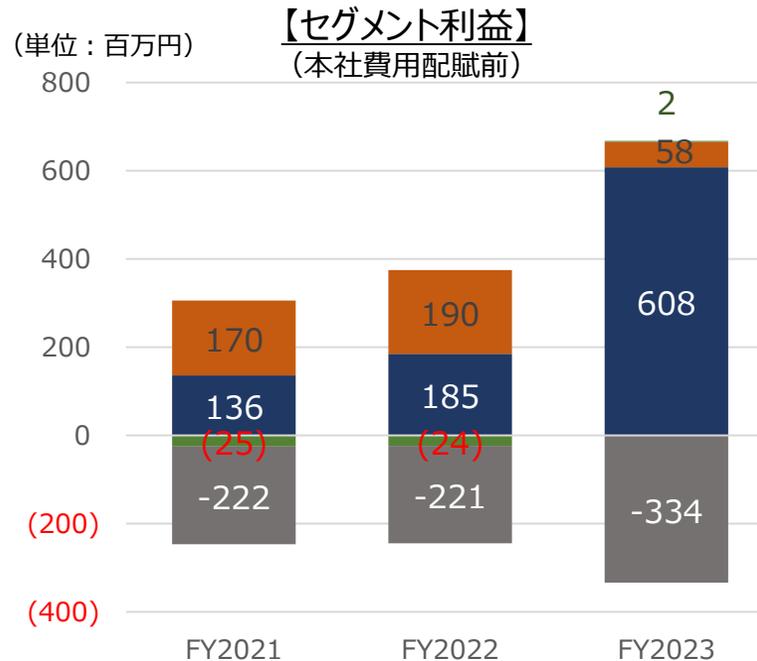
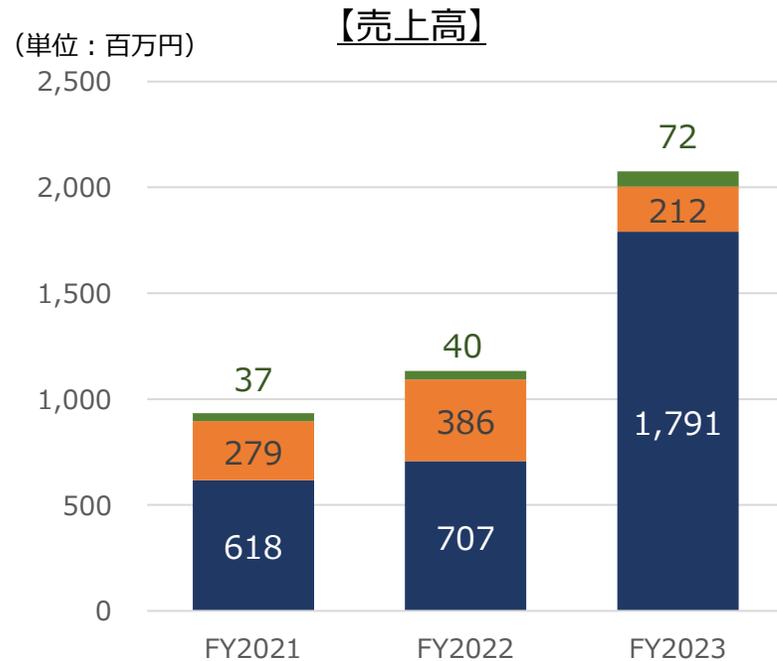
- ライフメディアテック事業における新規サービス開発などを目的に申請し、採択された事業再構築補助金60百万円を3Qに補助金収入として計上しております。
- 当該事業再構築補助金の対象サービス領域について、制度に則り算出した収益納付7百万円を4Qに補助金収入として減額計上しております。

【特別損益】**■ 減損損失の計上**

- ライフメディアテック事業におけるPCR検査取次サービスは、2023年5月の厚生労働省の「5類感染症への移行」発信により検査需要の大幅低下となり、当期業績は収益性が低下傾向となっております。今後の回収可能性を考慮した結果、十分な収益性が見込めないことから、当該サービスに関係するソフトウェアについて、全額減損損失（20百万円）として特別損失に計上しております。

事業セグメント別売上高・セグメント利益

- 売上高は、訪日外国人数の急激な回復によりWi-Fi事業が大きく推移し、総売上高に係る構成比が前期の62.2%より86.2%へと大きく伸長
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、売上増加の影響によるWi-Fi事業の成長、およびキャンピングカー事業の黒字転換により、前期比204百万円の増加（156.2%増）



	構成比	
	FY2022	FY2023
売上高		
Wi-Fi	62.2%	86.2%
ライフメディアアタック	33.9%	10.2%
キャンピングカー	3.6%	3.5%
セグメント利益		
Wi-Fi	141.9%	181.4%
ライフメディアアタック	145.6%	17.3%
キャンピングカー	▲18.6%	0.9%
本社費用	▲168.9%	▲99.6%

※1 その他は、FY2021.9においては両替事業等（両替事業はFY2021より廃止）の主事業以外の収益、FY2022.9においてはコンサルティング業務等の主事業以外の収益となります

Wi-Fi事業の状況

- Wi-Fi事業の売上高は、GlobalMobile*¹は前期比同水準での推移となったものの、JapanWireless*²が好調に推移したことにより153.1%増にて着地
- セグメントKPIである稼働端末台数は、訪日外国人数の急激な回復影響により、3Qまで65%増と大幅に上昇推移、4Qは季節性の回復により長期滞在人数が低下傾向となったため稼働端末台数が低下影響

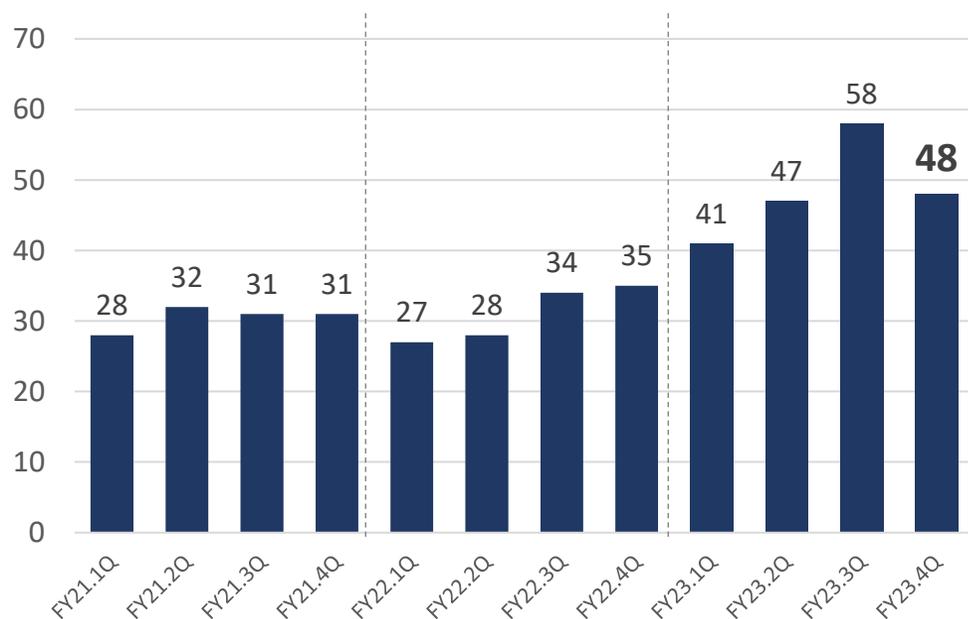
【3カ年推移】

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022	FY2023
売上高	618	707	1,791
成長率	31.2%	14.4%	153.1%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	136	185	608
営業利益率	22.1%	26.3%	34.0%
成長率	97.6%	36.1%	227.4%
セグメント利益 (本社費用配賦後)	0	47	320

【稼働端末台数の推移】

(単位：千台)



ライフメディアテック事業の状況

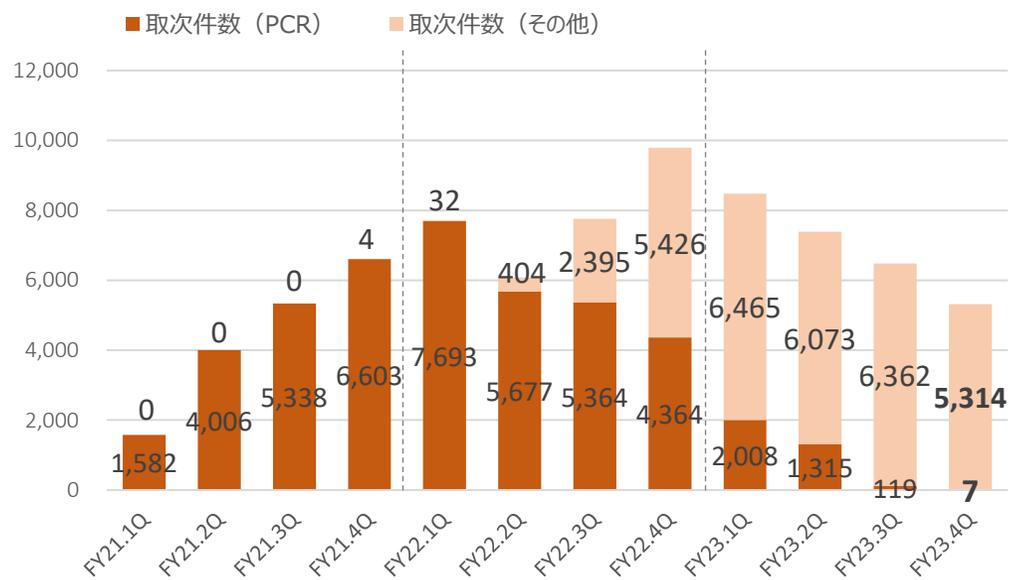
- セグメントKPIである取次件数総数は、AIRPORT TAXI及びLiving Japanが堅調に推移したものの、PCR検査取次ぎが大きく低下したことにより、前年比11.8%低下
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、新サービス開発への取組み・既存サービスの拡張等にかかる減価償却費・広告宣伝費の増加の影響もあり、前年比69.5%低下

【3カ年推移】

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022	FY2023
売上高	279	386	212
成長率	366.2%	38.2%	▲45.1%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	170	190	58
営業利益率	60.9%	49.4%	27.4%
成長率	892.9%	12.1%	▲69.5%
セグメント利益 (本社費用配賦後)	108	115	24

【取次件数の推移】



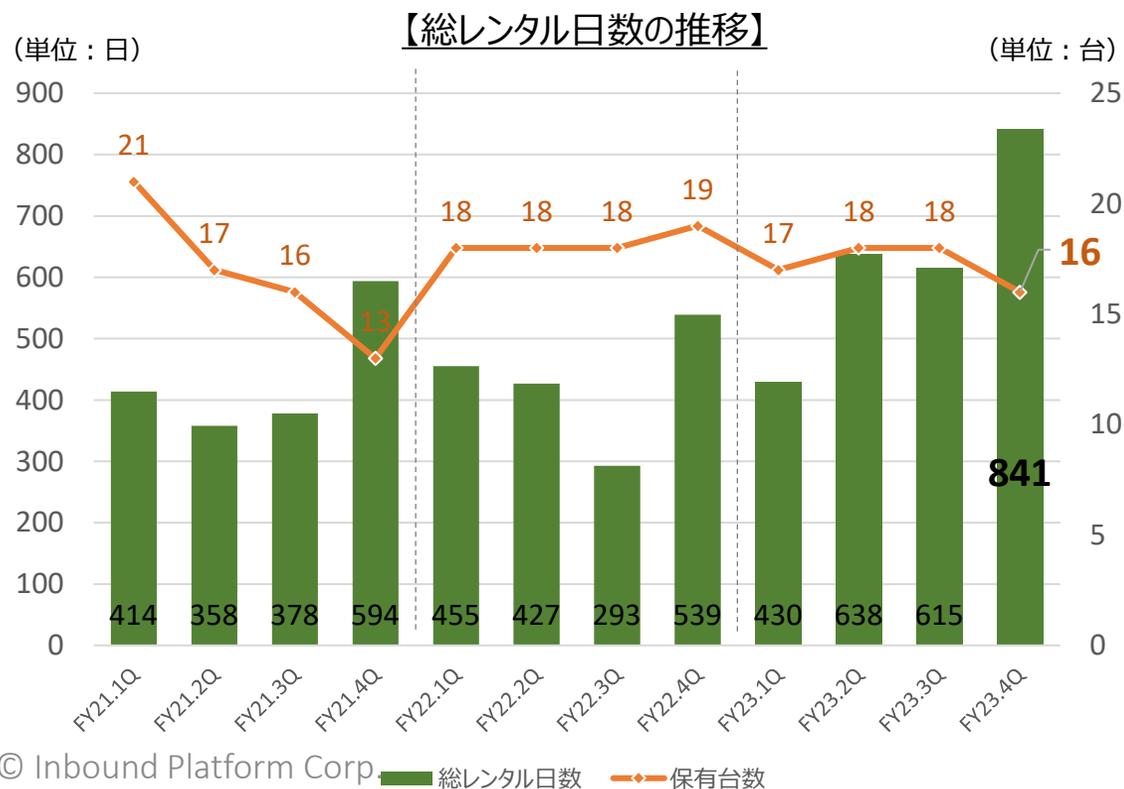
キャンピングカー事業の状況

- セグメントKPIである総レンタル日数は、キャンプ需要の高まり・訪日外国人数の回復影響により国内キャンピングカーレンタルが好調となった結果、4Qでは前年比56.0%増となる総レンタル日数：841日と大幅に上昇
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、売上高の回復により黒字転換

【3カ年推移】

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022	FY2023
売上高	37	40	72
成長率	▲40.4%	9.7%	75.8%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	▲25	▲24	2
営業利益率	▲67.6%	▲60.0%	2.8%
成長率	▲104.9	2.8%	111.9%
セグメント利益 (本社費用配賦後)	▲33	▲32	▲8



WFO事業

ライフメディアテック事業

キャンピングカー事業

- 上場及び十分な利益獲得により、自己資本比率は17.9pt上昇の57.6%と十分な水準を維持
- 営業活動CFが業績の大幅上昇による影響により、429.4%増加の643百万円と大幅に伸長

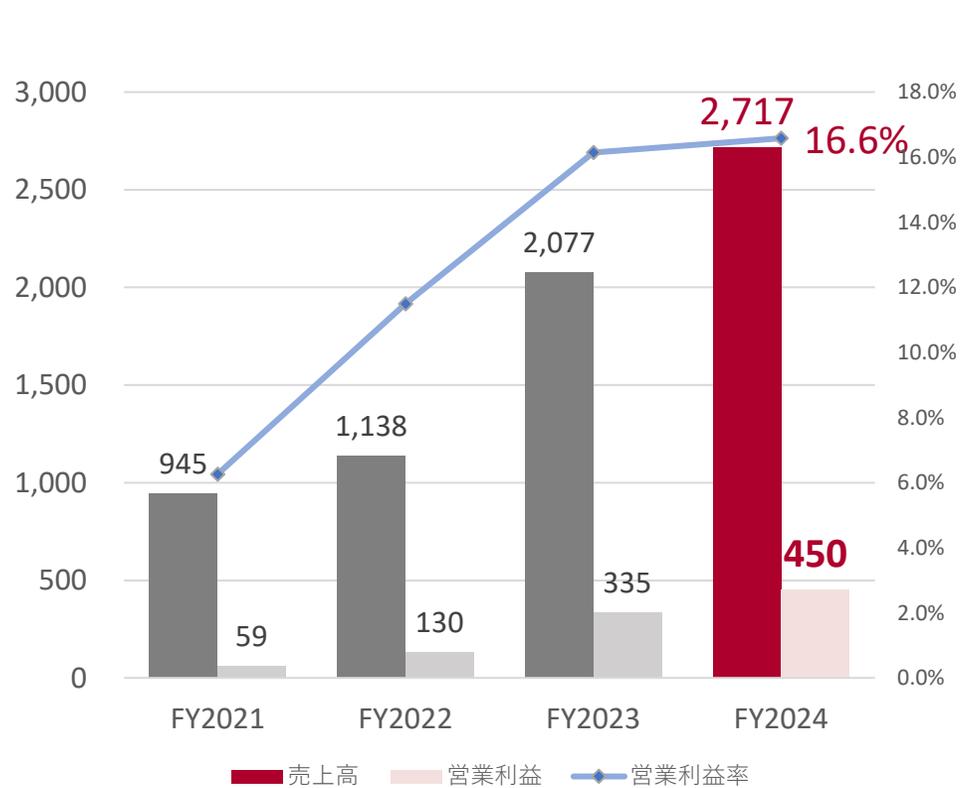
(単位：百万円)

	FY2022	FY2023	YoY 増減率
流動資産	570	1,280	124.6%
現金及び同等物	521	1,204	130.9%
その他流動資産	48	76	57.6%
固定資産	349	540	54.8%
総資産	919	1,821	98.1%
流動負債	282	558	97.3%
借入金	55	61	11.2%
その他流動負債	227	496	118.4%
固定負債	271	214	▲21.0%
総負債	554	772	39.3%
純資産	364	1,048	187.5%
自己資本比率	39.7%	57.6%	17.9pt

	FY2022	FY2023	YoY 増減率
営業活動CF	121	643	429.4%
投資活動CF	▲132	▲324	▲145.3%
財務活動CF	▲64	363	667.2%
現金及び同等物の増減額	▲74	682	1,013.4%
現金及び現金同等物の期首残高	596	521	▲12.5%
現金及び現金同等物の期末残高	521	1,204	130.9%

④ FY2024.09 業績予想

- FY2024期は、継続的な訪日外国人数の上昇を見込み、売上高は30.8%増加の2,717百万円と予想
- 営業利益は、売上拡大に向けたマーケティング費用及び人件費の増加を見込むものの、利益率の高いサービスの展開を見込み34.4%増加の450百万円を予想

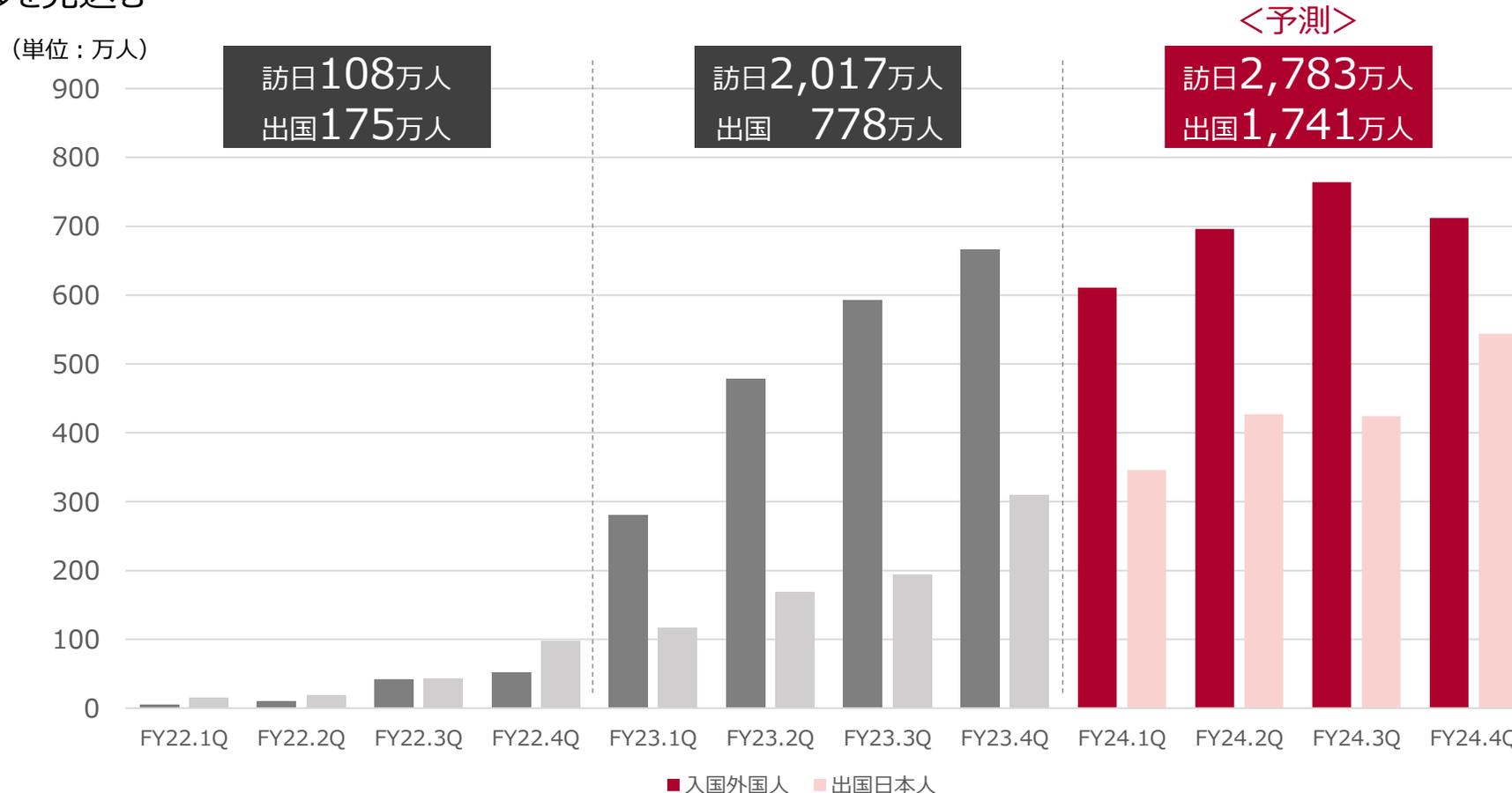


(単位: 百万円)

	FY2023		FY2024		増減額	増減率
	実績	売上高比	予想	売上高比		
売上高	2,077	-	2,717	-	640	30.8%
売上総利益	1,236	59.5%	1,703	62.7%	466	37.8%
営業利益	335	16.1%	450	16.6%	115	34.4%
経常利益	376	18.1%	453	16.7%	76	20.3%
当期純利益	252	12.1%	317	11.7%	65	25.9%

【全社主要KPI】 訪日外国人・出国日本人の推移と予測（当社会計期間単位）

- 訪日外国人数は、急上昇していた回復期を抜けても、アジア圏の旅行需要・季節性の回復等の変動要素を加味し、継続的になだらかな増加推移を見込む
- 出国日本人数は、訪日と比較し回復状況は低調推移となったが、FY23.4Qより増加傾向にありFY2024期も段階的な推移を見込む



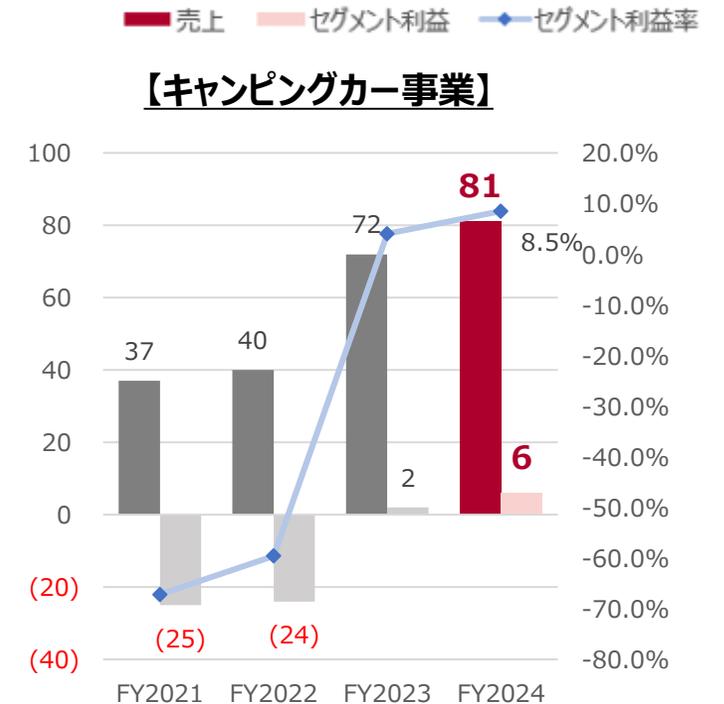
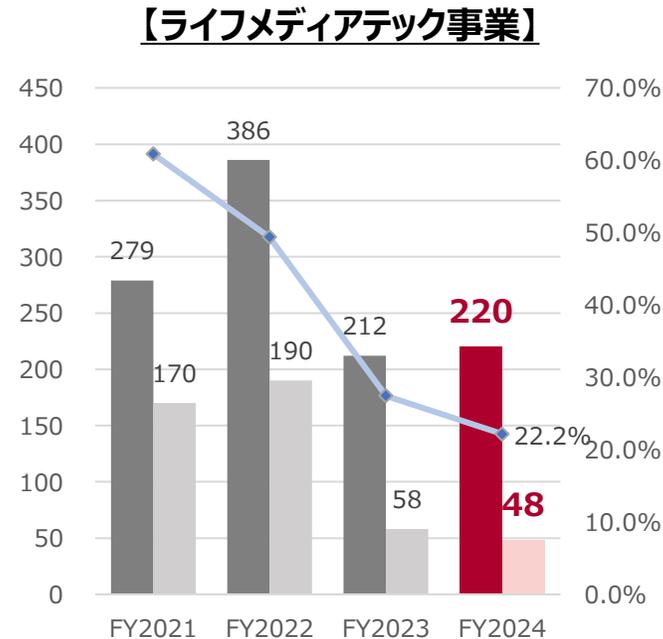
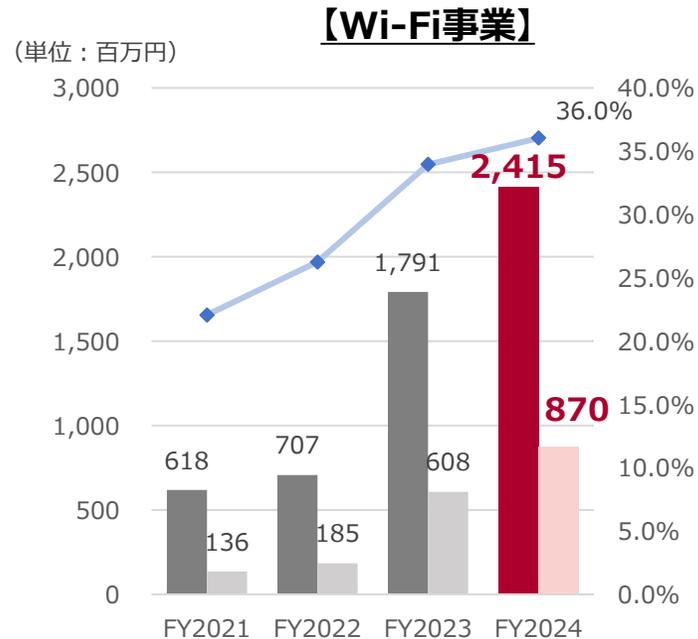
訪日108万人
出国175万人

訪日2,017万人
出国 778万人

<予測>
訪日2,783万人
出国1,741万人

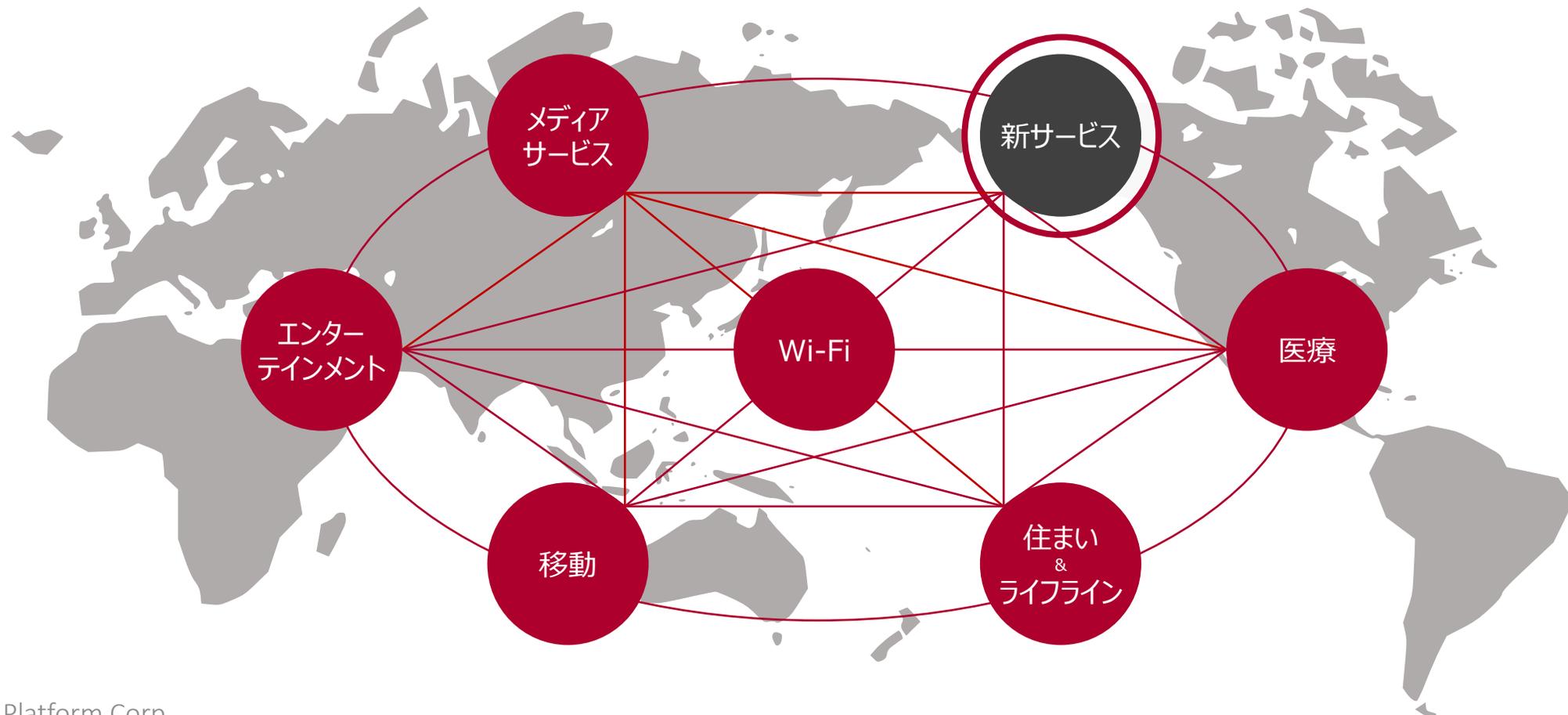
セグメント別業績

- Wi-Fi事業は、外部環境は期首より高水準の訪日外国人数の推移を想定、内部要因としてはマーケティング活動の強化に伴う新規顧客・リピート顧客の獲得を推進し、当期に続き増収・増益を目指す
- ライフメディアテック事業は、AIRPORT TAXI、LivingJapanの顧客増大に向けたマーケティング投資、新ビジネス/新サービスの創出・リリースを推進する
- キャンピングカー事業は、収益の継続成長を目指し、マーケティング活動に注力する



⑤ 成長に向けた取り組み

インバウンドプラットフォームは 多くの訪日・在留外国人の滞在環境を充実させるために 様々なサービスを展開します

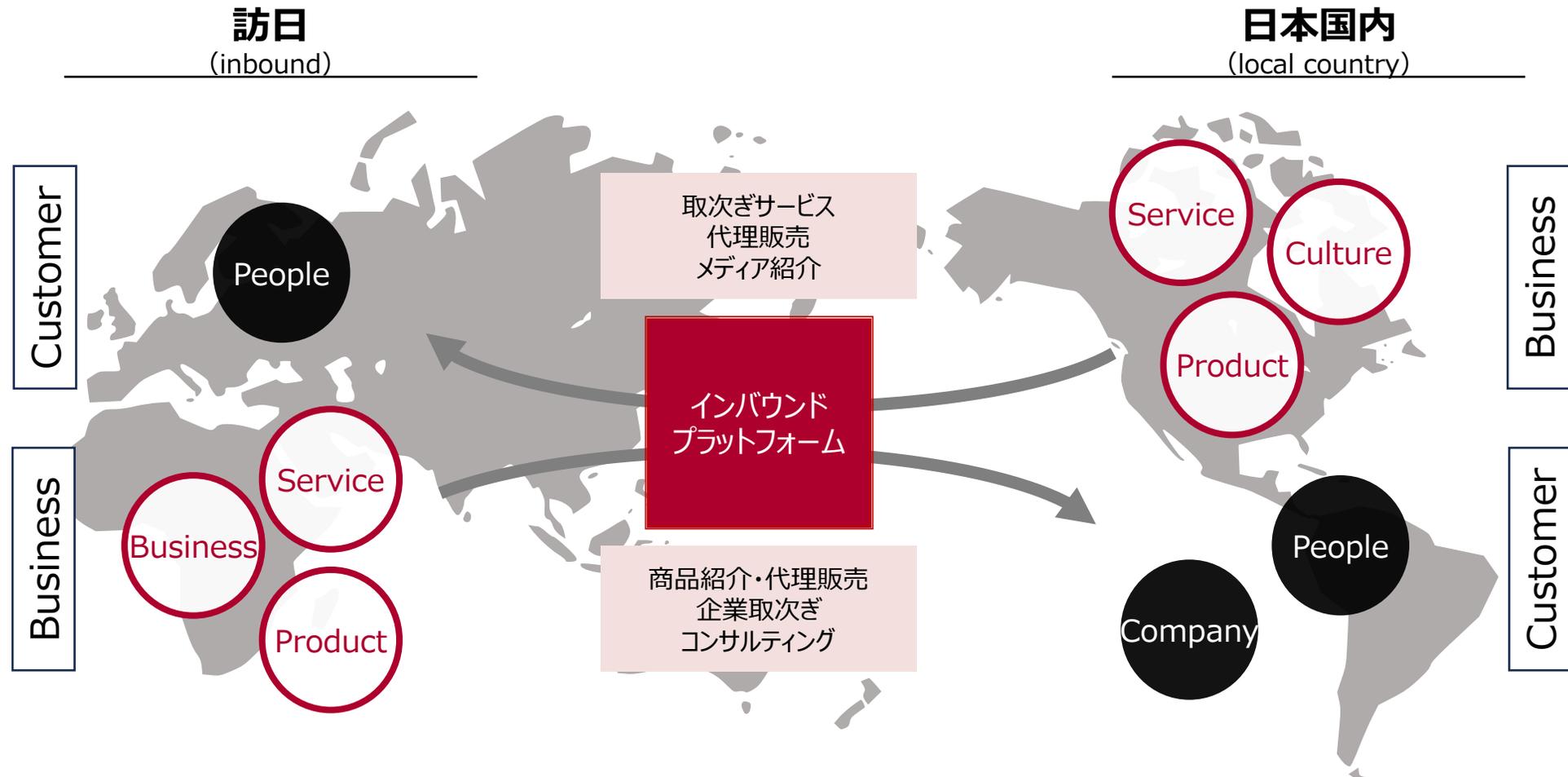


Wi-Fi事業

ライフメディアテック事業

キャンペーンカー事業

訪日外国人へのサービス取次ぎと共に、日本企業の外国人向けビジネスの発信を支援し、双方向の利便性向上を実現します
また、訪日外国人だけではなく、日本に暮らす外国人の方に向けて、海外ビジネスの日本への取次ぎも進めます



Web事業

ライフメディアテック事業

キャンペーンカード事業

グローバルマーケットにおける認知度向上とリピート顧客獲得を推進し、中長期的に安定した収益基盤の確立を目指します

新規顧客の獲得

マーケティングの強化

- 広告の強化・最適化
- ブランディングの強化
- 獲得チャネルの強化（アフィリエイト・メディア等）

Webサイトの改善

- CVR（コンバージョン率）の改善
- A/Bテスト^{*1}の実施

対応言語の拡充

- Webサイト、広告配信、コールセンターのそれぞれで対応言語を順次追加し、新たな顧客層へのリーチ



リピート顧客の獲得

継続的なコミュニケーション

- DM・メルマガ・SNS等での接触頻度の増加
- リピーター特典の提供
- リターゲティング広告の強化

カスタマーサポート体制の強化

- ナレッジ共有の仕組み化
- AI導入による効率化

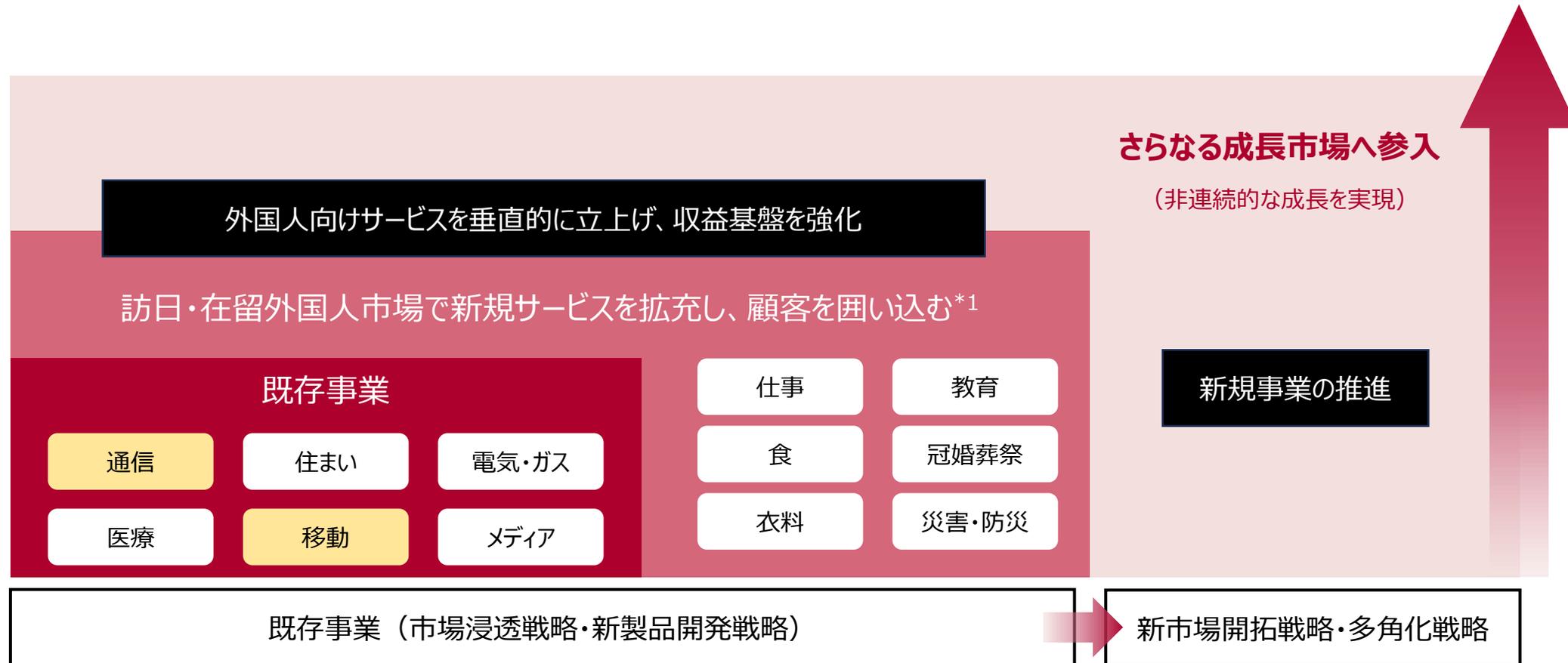
クロスセルの強化

- 購入時やDM等での他サービスの案内

※1 A/Bテストは、ある特定の期間にコンテンツ（Webサイト・バナー・広告文等）を2パターン以上用意して、どのパターンが効果の高い成果を出せるのかを検証することを指します

ミニ事業
 ライフメディアテック事業
 キャンピングカー事業

当社の強みとする訪日・在留外国人向け事業を中心として、新規事業を立ち上げを推進します
 事業間シナジーを強化しながらさらなる成長市場への積極的な先行投資を中長期で実現します



※1 記載のサービスは参考例です

Topic **＜新規サービスに関する取り組み＞**

【移動】

「ビジネスえきねっと」のサービス導入に関するお知らせ
(11/14リリース)

「ビジネスえきねっと（JR東日本）」のサービス導入により、訪日外国人に向けたJRの乗車券類の販売に取り組んでまいります。

訪日外国人数が急激に回復している現在、日本全国でインバウンドへの期待が高まる中、当サービスの実現により訪日外国人の移動環境を充実させて移動範囲を拡大し、全国各地のインバウンド需要に応えることを目指します。

サービス開始予定：2024年1月

【通信】

訪日旅行者向け eSIMサービスの本格的な販売開始！
(11/14リリース)

グローバルローミングデータマーケットプラットフォームのUSIMSAと連携し、訪日旅行者向けeSIMサービスの本格的な販売を開始します。

今後の世界の旅行者の通信環境ニーズの変遷を先取り、第一弾として訪日外国人向けのeSIMサービスを構築し、訪日旅行者の満足度を上げ「日本へのリピーター」の創出の次なる一手を担うことを目指します。

＜サービス概要＞

対象：全国のJR新幹線・在来線

販売：対象区間の乗車券、自由席特急券、指定席特急券、グリーン券、在来線特急券

時期：通常期、繁忙期（GW、お盆年末年始）等



＜ Japan Wireless e-SIM サービスサイト ＞

リーディングカンパニーとして、キャンピングカー認知の向上を推進します

<事業環境>

新型コロナ発生以降、FY2023期は初の黒字化に転じ、アウトドアニーズ・キャンピングカー需要が高まる

<当社のミッション>

キャンピングカーの利用環境を向上させ、利用ニーズにつながるマーケット環境創りを推進

<アクションプラン>

認知獲得

- インバウンド顧客の認知向上に向けた、マーケティング施策の検討/実施
- キャンプ、アウトドアニーズの継続に向けたマーケット環境促進広告の推進・安全性認知のイベント活動など

環境整備

- キャンピングカー利用者促進にむけたモータープールサービスの拡大
- キャンプ場やイベント施設などとの提携、イベント共催
- スキル向上、事故抑制にむけた取り組み検討

機会獲得

- 当社キャンピングカーの保有台数を適正化し、多くのお客様に利用いただく機会を創出
- 初めての方、旅行を検討されている方に向けて、より充実した体験となるようサービスを検討

ご参考資料

ABOUT US

会社概要

会社名	株式会社インバウンドプラットフォーム
設立	2015年10月
所在地	東京都港区新橋六丁目14番5号
従業員数	81名（2023年9月末時点）※アルバイト含む
株式市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：5587）

経営陣	王 伸	代表取締役社長 / CEO
	原 隆之	取締役 / CFO
	武原 等	取締役
	古我 知史	社外取締役
	菅原 洋	社外取締役
	宇尾野 彰大	社外取締役
	宮川 竜一	監査役
	生田目 克	監査役
	三神 拓也	監査役

事業内容	Wi-Fi事業 ライフメディアテック事業 キャンピングカー事業
------	---------------------------------------



2015年10月

当社の前身となる
(株) エルモンテRVジャパンを設立。



2016年7月

エルモンテRVジャパンの株式100%を
(株) エアトリが取得。

キャンピングカー事業の本格的な始動。

2018年8月

(株) Destination Japanを吸収合併し、
Wi-Fi事業部の発足。



株式会社インバウンドプラットフォーム
に社名変更。



2019年9月

現在の本社に移転。
(東京都港区新橋六丁目14番5号)

2020年3月

FAST JAPAN株式会社より
コンシェルジュアプリを事業譲受。



2020年4月

株式会社グローバルモバイルの
株式を100%取得し子会社化。

Global Mobile

2020年6月

子会社の株式会社グローバルモバイル
を吸収合併。

2021年6月

ライフメディアテック事業部の発足。

2023年8月

東京証券取引所グロース市場へ
株式上場。



役員紹介

**王 伸 / 代表取締役社長 CEO**

慶応義塾大学経済学部卒業後、税理士法人トーマツ及びKPMG税理士法人にてコンサルティング事業に従事。2014年11月に株式会社エポラブルアジア（現：株式会社エアトリ）入社、経営企画室室長、執行役員、取締役COOを歴任。2018年8月当社代表取締役社長に就任。

**原 隆之 / 取締役 CFO**

東京大学経済学部卒業後、株式会社NTTドコモに入社。2018年10月に当社入社、同年12月当社取締役CFOに就任。

**武原 等 / 取締役**

1993年株式会社アップルホテルズ（現：株式会社アップルワールド）取締役に就任。2014年7月同社常務執行役員に就任。2015年10月に当社を創業し、代表取締役社長に就任。2018年8月当社取締役に就任、キャンピングカー事業を牽引。

**宮川 竜一 / 常勤監査役**

東北大学法科大学院卒業後、2015年12月弁護士登録、リーガルキュレート総合法律事務所勤務。2018年12月、当社常勤監査役に就任。

数字で見るIPC

2015年10月創業より

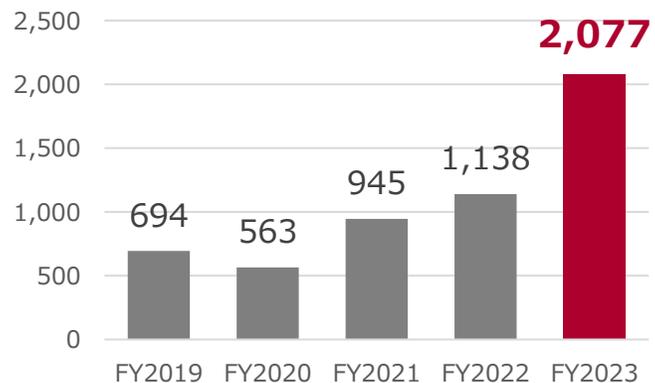
9 期目

従業員数
(2023/9末時点)

81 人

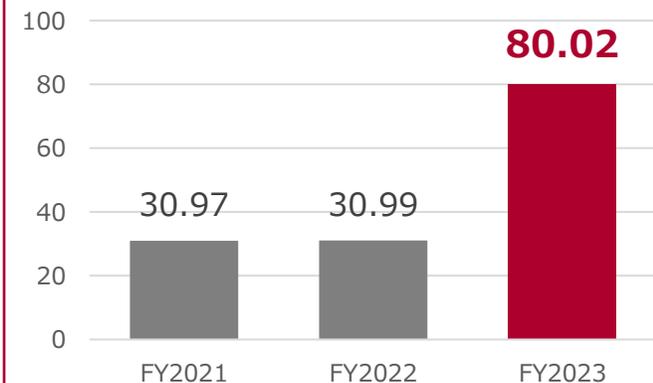
売上高

(単位：百万円)



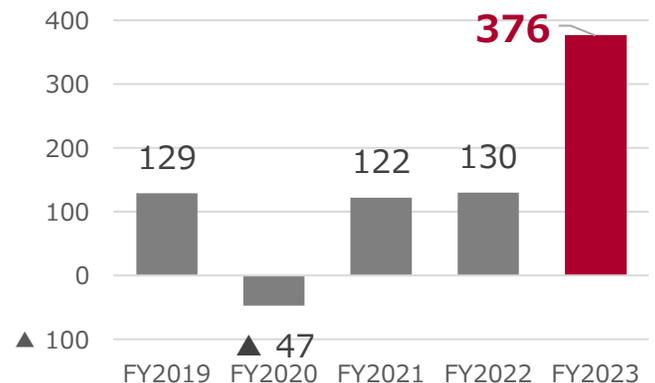
1株当たり純利益

(単位：円)



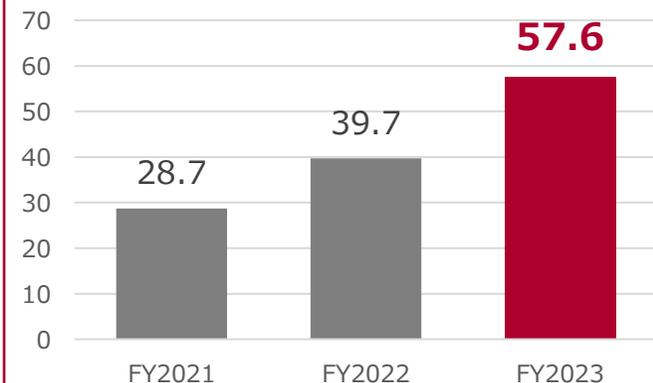
経常利益

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



< 将来見通しに関する注意事項 >

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。
- 通常予測し得ないような特別事情の発生、または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

<お問合せ>

株式会社インバウンドプラットフォーム
管理部 IR担当

ir@inbound-platform.com

www.inbound-platform.com/ir/form/



**Make people
from all over the world
Love This Country**